

■ ニューノーマル時代の大学院教育を考える — オンライン授業の方法論について —

コロナ禍でオンライン授業が拡大し、with/after コロナ時代の大学教育のあり方も変化してきています。コロナ以前から広がりを見せていた「学生の主体的で深い学びを促進する授業理論や授業デザインの手法」も一気に拡大しました。

そこで、オンライン授業の進め方の工夫によって、学習者にとって学びの質がどのように向上するのかについて、オンラインによる企業研修や各種キャリアアップ研修でも活用されている事例をもとに考えていきます。

- ・ 基調講演「ハイブリッド教育の事例紹介」 デジタルハリウッド大学 石川 大樹 氏
オンライン教育の基礎的な知識と活用の考え方、教員の新たな役割について、テクノロジーとコンテンツの授業活用や運用のノウハウ、学修成果の可視化などについてお話を伺います。
- ・ 大学院共通科目「生命と生活の質特論」での取り組みの報告 吉村 耕一 研究科長
- ・ 他大学におけるオンライン授業の工夫と展開についての報告 岩野 雅子 研究科長

3つの事例報告を参考に、本学における大学院教育への活用の仕方について考える参考にしていただければと思います。

- 日 時 2021年12月22日(水曜日) 15時~16時30分
- 主 催 山口県立大学大学院

オンラインによる配信 参加希望者は、下記までメールでお問い合わせ下さい。(一般参加可)
※ 大学院所属の教職員・学生には後日アドレスを通知